


取扱説明書



デジタルもぐら junior DM-ER3022J

緊急地震速報のリーディングカンパニー
 株式会社 J コーポレーション
総合窓口 TEL 0742-53-7833



業務管理センター 奈良県奈良市押熊町 557-7 4F fax 0742-53-7795
本社 三重県津市住吉町 11-13 TEL 059-223-7774

はじめに

この度は本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。今後とも末長くご愛用いただきますようお願い申し上げます。

本取扱説明書は本製品の取扱い上の注意、操作方法、仕様について説明しています。

本取扱説明書をよくお読みの上、内容を理解してからお使いください。

お読みになった後も、大切に保管してください。

安全にご使用いただくために

本製品を安全にお使いいただき、人体への危害や財産への損害を未然に防ぐために守っていただきたい事項が本取扱説明書の ⚠ 「警告」と ⚠ 「注意」に記載されています。

安全にご使用いただくために、必ずお読みください。

ご注意

- 本取扱説明書の内容の一部を性能・機能の向上などにより、予告なく変更することがあります。
- 本取扱説明書の内容を無断で転載、複製することを禁止します。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例、または規則に従ってください。
- 本製品に対するお問い合わせなどがございましたら、株式会社 J コーポレーションにご連絡ください。

ご使用上の注意(重要事項)

1. 緊急地震速報に使用される NHK 報知音（以下チャイム音と表記します）は NHK 及び民間放送局による受信機の起動を保証するものではありません。
2. 放送の受信状態により、正常に受信機が自動起動出来ない場合があります。より明瞭に受信できるようにアンテナの設置場所・方向を設定して下さい。
3. 緊急地震速報に使用されるチャイム音を検出し自動起動します。またチャイム音に酷似した音を受信した場合、誤って警報を出す場合があります。
4. 地震の発生場所、その他の理由により放送が本震の揺れに間に合わない場合があります。（直下型地震、震源地にごく近い場合及び気象庁の警報の発信が遅れた場合など。）
5. 電源の供給が止まっている場合には受信機は動作しません。本機は自動バックアップの電池等は搭載しておりません。（本機は停電の状態では動作しません）
6. 緊急地震速報、緊急警報放送の自動起動(出荷時の初期値)を設定される場合の注意点。
 - NHKは全てのラジオ放送局で緊急地震速報・緊急警報放送を放送しています。
 - 放送局によっては緊急地震速報、緊急警報放送の両方を放送している放送局、緊急地震速報だけ放送する放送局があります。
7. 誤作動により生じた全ての損失や損害、および事故等に関しては責任を負いかねますので予めご了承下さい。

警 告

■ 周囲に爆発性のガスがある場所で使用しないで下さい。

爆発性のガスがある場所で使用すると、爆発の原因になります。

■ 煙がでる、異臭または異音がする場合は、電源プラグをコンセントより抜いて下さい。

そのまま使用すると、感電・火災の原因になります。当社窓口で修理をご依頼下さい。お客様による修理は危険ですから絶対におやめ下さい。

■ 本製品に水が入らないよう、また、濡らさないようご注意ください。

濡らしたまま使用すると、感電・火災の原因になります。水などが入った場合は、当社窓口で修理をご依頼下さい。

■ 濡れた手で電源コネクタやケーブルにさわらないで下さい。

濡れた手でさわると、感電の原因になります。

■ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に本製品を置かないで下さい。

落ちたり、倒れたりすると、感電・けが・火災の原因になります。

本製品のカバーを破損した場合は、当社窓口で修理をご依頼下さい。

■ 規定の電源コネクタを使用して下さい。

■ 本製品の中に金属や燃えやすい異物を入れないで下さい。

隙間などから異物を入れると、感電・火災・故障の原因になります。異物が入った場合、電源をオフにし、電源プラグをコンセントより抜いた後、当社まで修理をご依頼下さい。

■ 規定の電源電圧でご使用下さい。

規定以外の電圧で使用すると、感電・火災・故障の原因になります。

■ カバーやパネルを外さないで下さい。

内部には電圧の高い部分がありますので、さわると感電の原因になります。点検・校正または修理を行う場合は当社窓口にご依頼下さい。

■ 本製品を改造しないで下さい。

改造すると、感電・火災・故障の原因になります。改造した場合は修理に応じられないことがあります。

■ 電源コード、接続ケーブルの取扱いについては以下の事項を厳守して下さい。

電源コードを束ねない。

電源コード、接続ケーブルを加工しない。

電源コード、接続ケーブルを引っ張らない。

電源コード、接続ケーブルを加熱しない。

電源コード、接続ケーブルを濡らさない。

電源コード、接続ケーブルをねじらない。

注 意

- 入出力コネクタに所定の接続ケーブル以外は絶対に接続しないで下さい。
また人命に係わる作動・制御には使用しないで下さい。
- 入出力コネクタに規定外の端子を接地したり、電圧を加えたりしないで下さい。
入出力コネクタに規定外の端子を接地したり、電圧を加えたりすると、回路破損或いは火傷、火災の原因になることがあります。
- 本製品の上にものを置かないで下さい。
本装置の上にものを置くと、カバーが内部回路に接触し、感電・火災・故障の原因になることがあります。
- 故障したまま使用しないで下さい。
故障したまま使用すると、感電・火災の原因になることがあります。故障の場合は、当社窓口にて修理をご依頼下さい。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないで下さい。
湿気やほこりの多い場所に置くと、感電・火災の原因になることがあります。
- 規定の動作範囲内でご使用下さい。
動作範囲外で使用すると、故障の原因になることがあります。使用できる温度範囲仕様に明記してあります。また直射日光の当たる場所は避けて下さい。
- 長時間ご使用にならない時は、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- 損傷したケーブルやアダプタを使用しないで下さい。
損傷したものを使用すると、感電・火災の原因になることがあります。
- 本装置を輸送する場合は、ご購入時の包装材料か同等以上の包装材料を、ご使用下さい。
輸送中に本装置にかかる振動・衝撃が大きいと、故障して火災の原因になることがあります。適切な包装材・緩衝材をご使用下さい。業者に輸送を依頼するときは、包装箱の各面に「精密機械在中」などの表示をして下さい。

目次

1. 特長	1
2. 本体と付属品	1
3. 設置手順	2
4. 各部の名称と機能	3
4.1 表面パネル 操作ボタン・LED 等	3
4.2 背面パネル 設定スイッチ	4
4.3 上部パネル 入出力接続端子台（出力），F型コネクタ	5
4.4 側面パネル DCコネクタ	5
5. 設置の前に	6
5.1 受信警報種類 / 出力音声 / 出力時間を決める	6
5.2 緊急地震速報 / EWS のメッセージを決める	7
5.3 受信放送局及び電波強度について	7
6. 操作方法	8
6.1 設定	8
・選局、警報受信時の本体内臓スピーカ音量	8
・ライン出力の音量	9
6.2 動作確認と訓練	9
・ラジオモニタ、ラジオ試験、メロディ試験	9
・緊急地震速報訓練、EWS(緊急警報放送)訓練	11
7. 警報検出時の動作	12
7.1 緊急地震速報	12
7.2 EWS(緊急警報放送)	
・第1種 EWS(緊急警報放送)	12
・第2種 EWS(緊急警報放送)	12
・EWS 試験放送(緊急警報放送)	12
8. 内蔵音源	13
8.1 緊急地震速報	13
8.2 緊急地震速報訓練	13
8.3 EWS(緊急警報放送)	13
8.4 EWS(緊急警報放送)訓練	13
9. ブロック図	14
10. 内部状態と動作	15
11. アンテナ接続 / 設置方法	16
12. オプション	18
13. 製品仕様	19

1.特長

緊急告知受信機「DM-ER3022J」(以下、本製品)は、ラジオ放送から緊急地震速報と緊急警報放送の検出を行う受信機です。

本製品は、簡単に放送設備と連動する事ができます。

本製品には音声再生機能を搭載しており、非常時に拡声される音声をラジオ音声か内蔵されている音声かを選択できます。また、内蔵音声を使用して避難訓練放送を行う事ができます。

受信周波数は 76.0MHz～108.0MHz のワイド FM に対応しています。(ワイド FM のロゴ有)

2.本体と付属品

- DM-ER3022J 装置本体
- AC アダプタ
- 耐震壁掛金具
- 入出力接続端子台
- 取扱説明書

本書では**緊急警報放送 (EWS : Emergency Warning System)**を“EWS”と表記しており、**東海地震、津波警報、地方自治体からの発令**すべてを対象とする表現をしております。

3.設置手順

《1. 設置の前に 》

- ・受信警報種類／出力音声／出力時間を決める
『5.1 受信警報種類／出力音声／出力時間を決める』を参照願います。
- ・緊急地震速報／EWS 発報時のメッセージを決める
『5.2 緊急地震速報／EWS のメッセージを決める』を参照願います。
- ・アンテナを接続する
『11. アンテナ接続／設置方法』を参照願います。

《2. 設定をする 》

- ・受信する放送局を設定する
『6.1 設定』を参照願います。

※放送局の周波数に関しては、『5.3 受信放送局及び電波強度について』を必ず参照願います。

- ・警報受信時の音量を設定する
『6.1 設定』を参照願います。

《3. 外部機器の接続をする 》

- ・外部機器などを接続する
『4.3 上部パネル』、『9. ブロック図』、『10. 内部状態と動作』を参照願います。

《4. 動作確認をする 》

- ・機器本体の動作確認、および外部機器との連動確認をする
『6.2 動作確認』を参照願います。

《5. 訓練をする 》

- ・緊急時地震速報／EWS（緊急警報放送）の訓練をする
『6.3 訓練』を参照願います。

4.各部の名称と機能

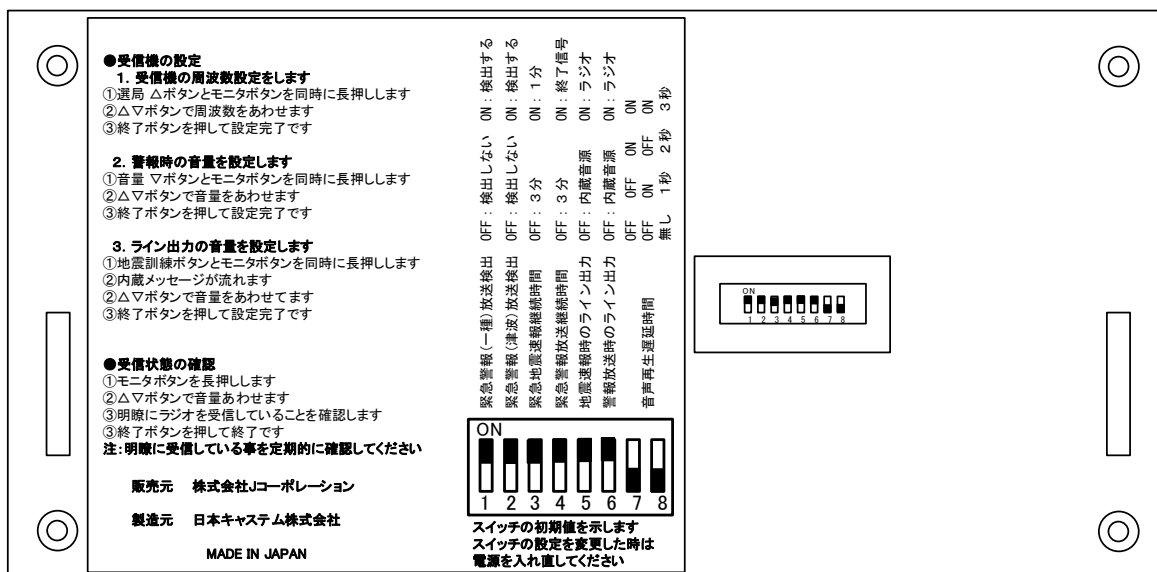
4.1 表面パネル



操作ボタン・LED等

名称	機能
地震速報 LED (赤)	緊急地震速報を受信した事を点滅して知らせます。終了ボタンを押下すると消灯します。操作が無い場合は約3日間点滅を続けます。
警報放送 LED (緑色)	EWS (緊急警報放送)を受信すると点灯し、EWS (緊急警報放送)の試験放送を受信すると点滅します。終了ボタンを押下すると消灯します。操作が無い場合は約3日間点灯を続けます。設定スイッチの1と2が共にOFFの場合は受信しません。
周波数 表示	ラジオの受信周波数を示します。(4桁)
FM LED (緑色)	ラジオの受信電波強度を示します。電波強度に応じてLEDが消灯(電波無し)、点滅(弱い)、点灯(良好)と変化します。LEDが点灯している状態で御使用下さい。
モニター LED (緑色)	音量設定時は点滅、ラジオモニター時は点灯します。
訓練 LED (緑色)	緊急地震速報訓練時は点滅、EWS (緊急警報放送) 訓練時は点灯します。
内蔵スピーカ	FM放送の音声や、内蔵音源の音声を出力します。詳しくは『内部状態と動作』を参照して下さい。
操作ボタン	『操作方法』を参照して下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・選局/音量 ・終了 ・地震訓練 ・警報訓練 ・モニター

4.2 背面パネル



設定スイッチ

詳しくは『ブロック図』を参照して下さい。

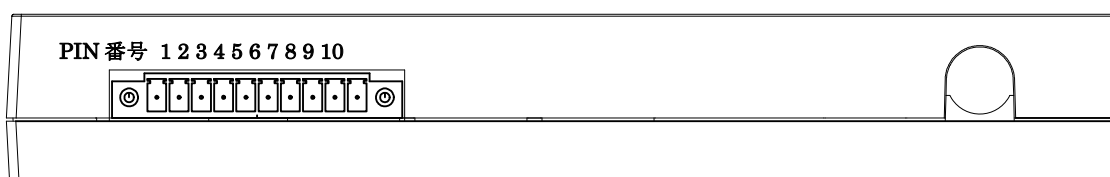
名称	機能		
	設定スイッチ	OFF	ON
設定 1	緊急警報 (第 1 種) 放送	検出しない	検出する
設定 2	緊急警報 (津波) 放送	検出しない	検出する
設定 3	緊急地震速報タイマー	3分	1分
設定 4	緊急警報放送タイマー	3分	終了信号まで
設定 5	緊急地震速報を検出した場合のライン出力	内蔵音源	ラジオ
設定 6	緊急警報放送を検出した場合のライン出力	内蔵音源	ラジオ
設定 7	制御接点が ON になってから音源再生までの遅延時間	設定 8 OFF	遅延無し
		設定 8 ON	約 1 秒
		約 2 秒	約 3 秒

出荷時の設定

※スイッチの設定を変更した時は電源を入れ直して下さい

※緊急地震速報は常に検出されます

4.3 上部パネル



入出力接続端子台（出力）

※本機が電源 off の場合でも（接点,ライン）入力は（接点,ライン）出力から送

詳しくは『ブロック図』および『内部状態と動作』を参照して下さい。

名称	PIN 番号	信号	機能
RS-232	1	TxD	メンテナンス用
	2	RxD	
制御接点入力 (オプション)	3	+	制御接点入力 制御接点出力と繋がっています。 外部放送設備の制御信号を入力します。
	4	-	
制御接点出力	5	+	制御接点出力 緊急地震速報または緊急警報放送を検出した場合、お よび訓練放送を行う場合に ON になります。 外部放送設備の制御信号として使用します。
	6	-	
ライン入力 (オプション)	7	+	外部音声を入力します。緊急警報放送あるいは、緊急 地震速報を検出していない待機状態で、ライン入力の 音声はライン出力から送出されます。
	8	-	
ライン出力	9	+	ラジオや内蔵音源の再生音を出力します。 外部の放送設備の入力音声として使用します。 レベル可変です。
	10	-	

F 型コネクタ

詳しくは『ブロック図』を参照して下さい。

名称	機能
アンテナ入力	FM アンテナを接続します。

4.4 側面パネル

DC コネクタ

詳しくは『ブロック図』を参照して下さい。

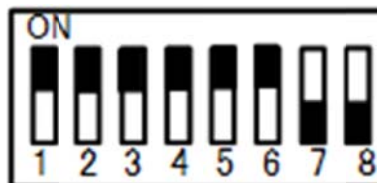
名称	機能
電源入力	電源入力端子です。付属の AC アダプタを接続して下さい。

5. 設置の前に

5.1. 受信警報種類／出力音声／出力時間を決める

※設定の際は AC アダプタは接続しないで下さい。

【背面スイッチ拡大図】



【設定スイッチの機能表】

設定内容をご記入頂くと便利です。

名称	機能			設定値 記入欄
	設定スイッチ	ON	OFF	
設定スイッチ①	緊急警報（第1種）放送	検出する	検出しない	
設定スイッチ②	緊急警報（津波）放送	検出する	検出しない	
設定スイッチ③	緊急地震速報継続時間	1分	3分	
設定スイッチ④	緊急警報放送継続時間	終了信号まで	3分	
設定スイッチ⑤	緊急地震速報を検出した場合の ライン出力	ラジオ	内蔵音源	
設定スイッチ⑥	緊急警報放送を検出した場合の ライン出力	ラジオ	内蔵音源	
設定スイッチ⑦	制御接点が ON になって から音源再生までの遅 延時間	設定 8 OFF	約 2 秒	遅延無し
		設定 8 ON	約 3 秒	約 1 秒

出荷時の設定

※スイッチの設定を変更した時は電源を入れ直してください

5.2. 緊急地震速報／EWS のメッセージを決める

【緊急地震速報（設定スイッチ⑤）】内部音源はサンプリング8KHzのμ-lawデータとします。



設定スイッチ 5	メッセージ内容
ON	(ラジオ音声)
OFF	♪警報音 1♪緊急地震速報。 強い揺れに警戒して下さい。 揺れがおさまるまで、安全を確保して下さい。

「♪警報音 1♪」はNHKチャイム音を示します。

【EWS(緊急警報放送)（設定スイッチ⑥）】



設定スイッチ 6	メッセージ内容
ON	(ラジオ音声)
OFF	第1種 ♪警報音 2♪東海地震警戒宣言が発表されました。 情報を確認し警戒して下さい。
	第2種 ♪警報音 2♪津波警報、津波警報、津波警報。 慌てず高台に避難して下さい。

「♪警報音 2♪」は弊社オリジナル音声です。

※スイッチの設定を変更した時は電源を入れ直してください

5.3. 受信放送局及び電波強度について

受信する放送局の選択に関しては、以下のアドレスよりダウンロード出来ます。

<http://www.jcorp.co.jp/radio.pdf>

緊急地震速報及びEWS(緊急警報放送)を実施している放送局と実施していない放送局がありますので、ご注意下さい。

受信放送局を設定した後には、必ず、電波強度を確認して下さい。

電波強度の確認は、電波強度に応じてLEDが消灯(電波無し)、点滅(弱い)、点灯(良好)と変化します。

(図1)

LEDが点灯している状態で御使用下さい。

(図1丸印参照)




電波強度が不十分な場合には、アンテナの設置方法やブースターを取り付けて十分な電波強度を確保して下さい

6. 操作方法

6.1. 設定

選局

 周波数を NHK に設定すると全国の地震・津波が対象になります

受信周波数を設定します。必ず『5.3 受信放送局及び電波強度について』を参照願います。
制御接点は OFF のままです。ライン出力にはライン入力の音声そのまま出力されます。

1. 「選局／音量 UP ボタン」と「モニタボタン」を同時に2秒以上押します。



2. スピーカからラジオ音声を出力し、周波数表示が点滅します。この時のラジオ音声レベルは緊急地震速報または EWS(緊急警報放送)検出時のレベルとなります。
3. 「選局／音量 UP/DOWN ボタン」で周波数を変更します。



4. 「終了ボタン」を押すと周波数を記憶し、待機状態に戻ります。
5. 操作途中で、EWS(緊急警報放送)または緊急地震速報を受信すると、操作した周波数のまま警報検出時の動作に移行します。ただし、記憶しないため警報状態から復帰する時に元の周波数となります。
60 秒間無操作状態のとき元の周波数で待機状態に戻ります。

警報受信時の本体内臓スピーカ音量

警報受信時の本体内臓スピーカの音量を設定します。
制御接点は OFF のままです。ライン出力にはライン入力の音声そのまま出力されます。

1. 「選局／音量 DOWN ボタン」と「モニタボタン」を同時に2秒以上押します。



2. スピーカからラジオ音声を出力します。この時のラジオ音声レベルは緊急地震速報または EWS(緊急警報放送)検出時のレベルとなります。
3. モニタ LED が点滅して、音量が変更できる事を知らせます。

警報受信時の本体内蔵スピーカ音量

- 「選局／音量 DOWN ボタン」で音量を変更します。



- 「終了ボタン」を押すと音量を記憶し、待機状態に戻ります。
- 操作途中で、EWS(緊急警報放送)または緊急地震速報を受信すると、操作はキャンセルされ、警報検出時の動作に移行します。
60 秒間無操作状態のとき元の音量で待機状態に戻ります。

ライン出力の音量設定

ライン出力の音声を設定します。
制御接点は ON になります。

設定方法は、次項『6.2 動作確認 ・ ラジオ試験 ・ メロディ試験』を参照下さい。

6.2. 動作確認と訓練

ラジオモニタによる動作確認

ラジオの受信状態の確認を行うために、ラジオ音声を内蔵スピーカに出力します。スピーカ音量は記憶されません。毎回、同じ音量で起動されます。
制御接点は OFF のままです。ライン出力にはライン入力 of 音声そのまま出力されます。

- 「モニタボタン」を 2 秒以上押します。



- 「モニタ LED」が点灯し、ラジオの音声が出力されます。
- 「選局／音量 UP/DOWN ボタン」で音量を変更します。



- 「終了ボタン」を押すと、待機状態に戻ります。
「終了ボタン」が押されるまでラジオの音声が出力されます。
- 操作途中で、緊急警報放送または緊急地震速報を受信すると、操作はキャンセルされ、警報検出時の動作に移行します。

ラジオ試験による動作確認

ラジオ音声を内蔵スピーカとライン出力に出力します。

設置時にラジオの受信状態から、外部の放送設備までの総合的な確認を行います。音声レベルは緊急受信用になります。

制御接点は ON になります。

1. 「警報訓練ボタン」と「モニタボタン」を同時に 2 秒以上押します。



2. 「訓練 LED」が点灯と「モニタ LED」が点滅し、制御接点が ON となりラジオの音声が出力されます。
3. 「選局/音量 UP/DOWN ボタン」でライン出力の音量を変更できます。



4. 「終了ボタン」を押すとライン出力音量を記憶し待機状態に戻ります。
1. 操作途中で、EWS(緊急警報放送)または緊急地震速報を受信すると、操作はキャンセルされ、警報検出時の動作に移行します。

メロディ試験による動作確認

メロディ音声を内蔵スピーカとライン出力に出力します。

設置時に内蔵音源の音量調整から、外部の放送設備までの総合的な確認を行います。音声レベルは緊急受信用になります。

制御接点は ON になります。

1. 「地震訓練ボタン」と「モニタボタン」を同時に 2 秒以上押します。



2. 「訓練 LED」と「モニタ LED」が点滅し、制御接点が ON となり設置作業用メッセージが出力されます。
3. 「選局/音量 UP/DOWN ボタン」でライン出力の音量を変更できます。



4. 「終了ボタン」を押すとライン出力音量を記憶し待機状態に戻ります。
5. 操作途中で、EWS(緊急警報放送)または緊急地震速報を受信すると、操作はキャンセルされ、警報検出時の動作に移行します。

緊急地震速報による動作確認及び訓練

1. 「地震訓練ボタン」を2秒以上押します。



2. 「地震速報 LED (赤)」が点滅し、「訓練 LED」が点灯します。制御接点を ON にすると共に、緊急地震訓練用の音声再生が始まります。音声の内容は「内蔵音源」を参照して下さい。
3. 「終了ボタン」を押されるか、緊急地震速報タイマー[設定 3]で設定された時間まで緊急地震速報の訓練用音声再生が再生されます。その後、待機状態に戻ります。
4. 操作途中で、緊急警報放送または緊急地震速報を受信すると、操作はキャンセルされ、警報検出時の動作に移行します。

EWS(緊急警報放送)による動作確認及び訓練

1. 「警報訓練ボタン」を2秒以上押します。



2. 「警報放送 LED (緑色)」と「訓練 LED」が点灯します。制御接点を ON にすると共に、EWS(緊急警報放送)訓練用の音声再生が始まります。音声の内容は「内蔵音源」を参照して下さい。
3. 「終了ボタン」を押されるか、緊急警報放送タイマー[設定 4]で設定された時間までEWS(緊急警報放送)の訓練用音声再生が再生されます。その後、待機状態に戻ります。
4. 操作途中で、EWS(緊急警報放送)または緊急地震速報を受信すると、操作はキャンセルされ、警報検出時の動作に移行します。

タイマー設定が終了信号受信の場合、タイマーで終了しません。「終了ボタン」で終了してください。

※FM トランスミッター (オプション) をご利用して、2回目のテストを続けてする場合には、FM トランスミッターの「緊急警報訓練 終了信号」を動作させるか、電源を入れなおさなければ、テストすることができません。

7. 警報検出時の動作

7.1. 緊急地震速報

1. 制御接点出力が ON（閉）になります。
2. 地震速報 LED（赤）が点滅します。
3. 設定スイッチ[5]の設定によりラジオ音声か、緊急地震速報メッセージ音声が発生されます。
4. 設定スイッチ[3]の設定(1 分間あるいは 3 分間)まで音声を送出したら、音声送出を停止すると同時に制御接点出力が OFF（開）となります。
5. 地震速報 LED（赤）⇒「終了ボタン」を押下あるいは 3 日後に消灯します。

7.2. EWS(緊急警報放送)

第 1 種 EWS(緊急警報放送)

1. 設定スイッチ[1]が ON の時に動作します。
2. 制御接点出力が ON（閉）します。
3. 警報放送 LED（緑色）が点灯します。
4. 設定スイッチ[6]の設定によりラジオ音声か、第 1 種緊急警報放送メッセージ音声が発生されます。
5. 設定スイッチ[4]の設定（終了信号あるいは 3 分間）まで音声を送出したら、音声送出を停止すると同時に制御接点出力が OFF（開）となります。
6. 警報放送 LED（緑色）⇒「終了ボタン」を押下あるいは 3 日後に消灯します。

第 2 種 EWS(緊急警報放送)

1. 設定スイッチ[2]が ON の時に動作します。
2. 制御接点出力が ON（閉）します。
3. 警報放送 LED（緑色）が点灯します。
4. 設定スイッチ[6]の設定によりラジオ音声か、第 2 種緊急警報放送メッセージ音声が発生されます。
5. 設定スイッチ[4]の設定（終了信号あるいは 3 分間）まで音声を送出したら、音声送出を停止すると同時に制御接点出力が OFF（開）となります。
6. 警報放送 LED（緑色）⇒「終了ボタン」を押下あるいは 3 日後に消灯します。

EWS(緊急警報放送)試験放送

1. 設定スイッチ[1 または 2]が ON の時に動作します。
2. 警報放送 LED（緑色）が点滅します。
3. 警報放送 LED（緑色）⇒「終了ボタン」を押下あるいは 3 日後に消灯します。

※NHK では毎月 1 日午前 11 時 59 分から、正月は 4 日に、定期的に試験放送をするので、本機の動作確認をする事ができます。日程などの詳細内容は NHK へご確認下さい。

8.内蔵音源

内部音源はサンプリング 8KHz の μ -low データとします。

8.1. 緊急地震速報

設定スイッチ 5	メッセージ内容
ON	(ラジオ音声)
OFF	♪警報音 1♪緊急地震速報。強い揺れに警戒して下さい。 揺れがおさまるまで、安全を確保して下さい。

※スイッチの設定を変更した時は電源を入れ直してください

「♪警報音 1♪」は NHK チャイム音を示します。

8.2. 緊急地震速報訓練（設定スイッチ 5 on,off 共通）

メッセージ内容

訓練，訓練，♪警報音 1♪，これは緊急地震速報の訓練です。

緊急地震速報。

強い揺れに警戒して下さい。

揺れがおさまるまで、安全を確保して下さい。

「♪警報音 1♪」は NHK チャイム音を示します。

8.3. EWS(緊急警報放送)

設定スイッチ 6	メッセージ内容
ON	(ラジオ音声)
OFF	第 1 種 ♪警報音 2♪東海地震警戒宣言が発表されました。 情報を確認し警戒して下さい。
	第 2 種 ♪警報音 2♪津波警報、津波警報、津波警報。 慌てず高台に避難して下さい。

※スイッチの設定を変更した時は電源を入れ直してください

「♪警報音 2♪」は弊社オリジナル音声です。

8.4. EWS(緊急警報放送)訓練（設定スイッチ 6 on,off 共通）

メッセージ内容

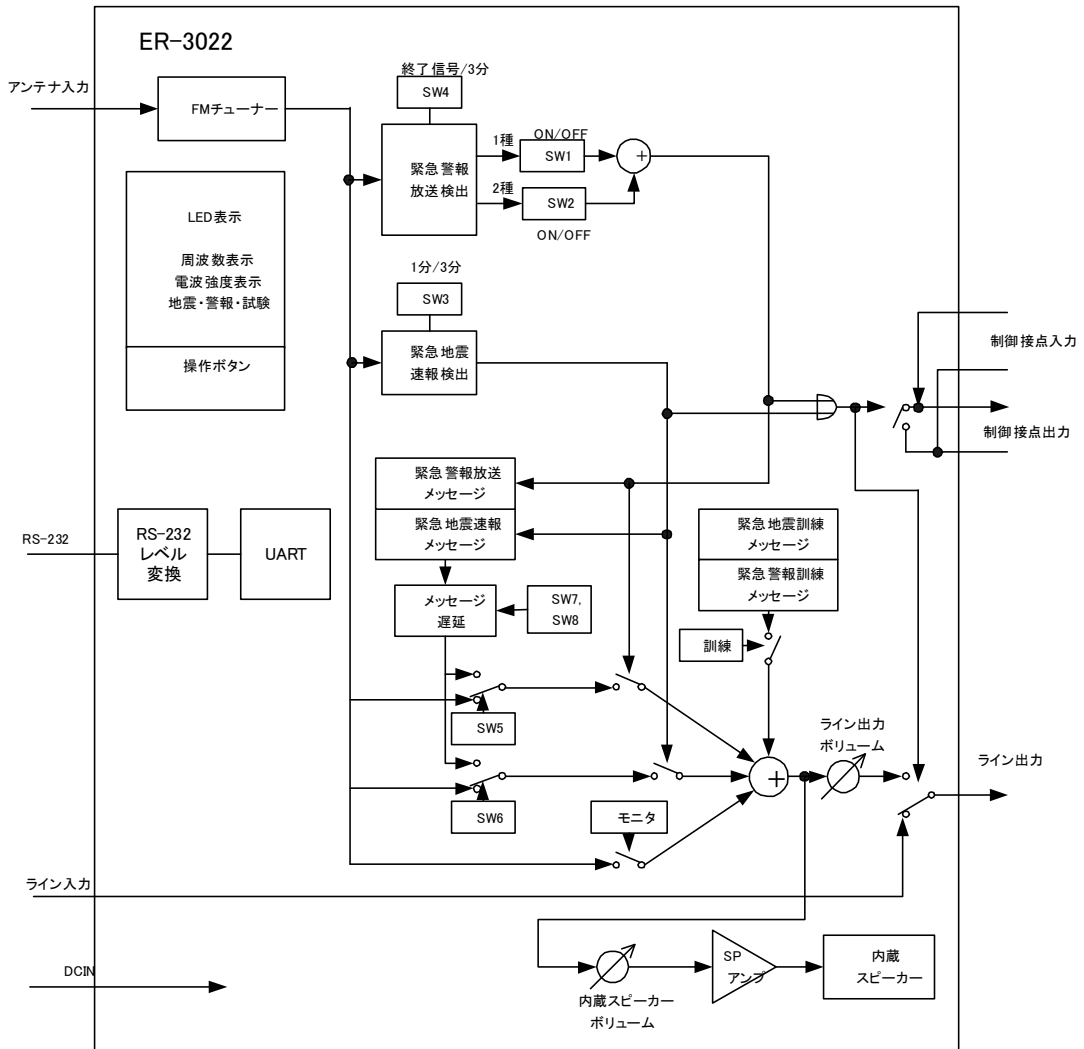
訓練放送です。

♪警報音 2♪緊急警報放送を受信しました。

津波の危険があります。情報を確認し警戒して下さい。

「♪警報音 2♪」は弊社オリジナル音声です。

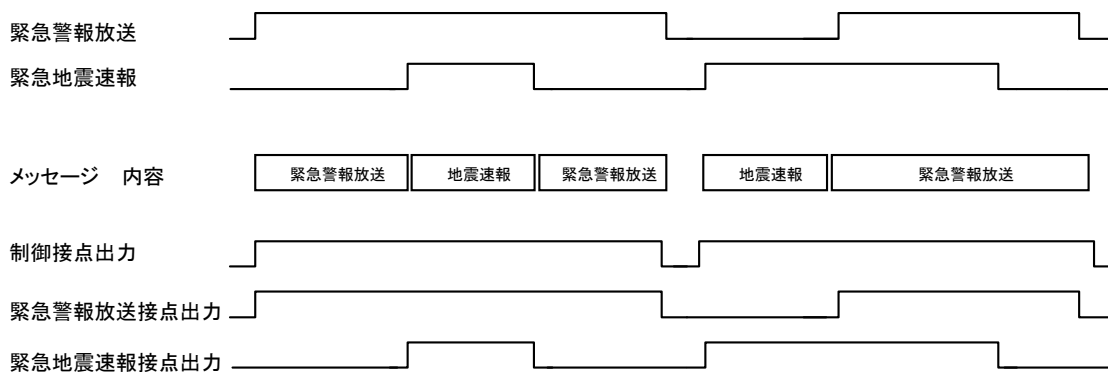
9. ブロック図



10. 内部状態と動作

優先順位	状態	制御接点出力	モニタ/ライン出力
1 (高)	EWS(緊急警報放送)検出 (設定 1または2がONの場合)	ON	設定 6=ON : ラジオ 設定 6=OFF : 音源再生
1	緊急地震速報検出	ON	設定 5=ON : ラジオ 設定 5=OFF : 音源再生
3	ラジオ放送設置試験	ON	ラジオ
	内蔵音源設置試験	ON	音源再生
	地震訓練	ON	音源再生
	警報訓練	ON	音源再生
	周波数設定	OFF	ラジオ
	ラジオモニタ	OFF	ラジオ
4 (低)	待機	OFF	ライン入力 (ライン出力のみ)
	電源 OFF 時	OFF	ライン入力 (ライン出力のみ)

- ・ EWS(緊急警報放送)検出・緊急地震速報検出は同レベルとし後から発生した現象が優先されます。



11. アンテナ接続／設置方法

アンテナ接続

【アンテナ設置に関するご注意】

- ・必ずアンテナを接続して下さい。また受信状態を確認して下さい。
- ・アンテナは専用の FM アンテナを外部に取り付けることが望ましいです。
- ・外部アンテナであれば放送局の方角へ向けてアンテナを設置して下さい。
- ・ケーブルテレビが敷設されていれば、FM 放送が聴ける場合があります。ケーブルテレビでは周波数が違うことが多いのでケーブル局にお問い合わせ下さい。
- ・本製品には避雷器は搭載されていません。外部アンテナを使用する場合は、保安器などを設置し、避雷対策をして下さい。
- ・電波が弱い場合にはブースターを接続して下さい。
- ・放送局が近くで、外部のアンテナが利用できないときは、室内アンテナも利用できますが、人が移動したときなどに、受信状態が変わる場合がありますので、アンテナの取付位置を 2 m 以上の高い場所に設置して下さい。

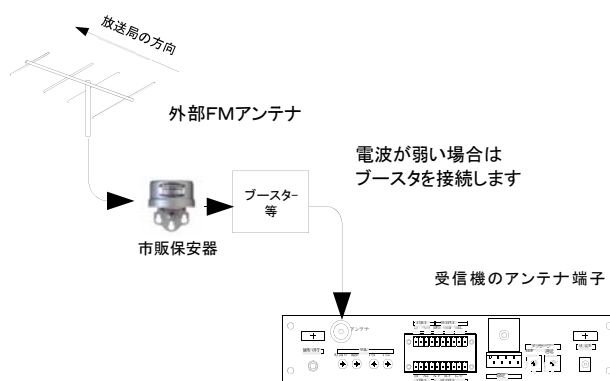


チャイム音検出は FM 放送が正常な状態（放送が明瞭に聞こえ、雑音の無い状態）で受信できないと検出機能が働かない場合がありますので、アンテナの設置には充分な注意をはらって下さい。

アンテナの締め付けは、7 k g ・ c m以下の力で締め付けを行って下さい。

外部 FM アンテナ

室内で電波状態が不良の場合には、屋外に外部 FM アンテナを設置します。
本製品には避雷器は搭載されていないので、保安器などを設置し避雷対策をして下さい。

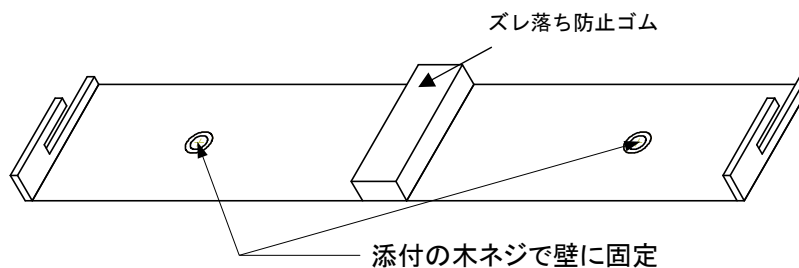


外部 FM アンテナ接続例

設置方法

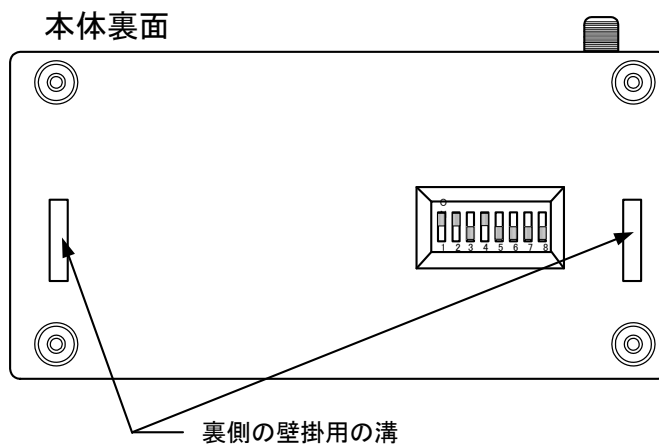
デジタルもぐらは、そのまま机などに置くと不安定ですので、壁面に設置してください。

①耐震壁掛金具



- ・ 耐震壁掛金具は添付の木ネジで壁などに固定する。
- ・ 耐震壁掛金具を木ネジで固定できないときは、添付の両面テープを耐震壁掛金具に貼り壁などに固定して下さい。
(注：剥れ落ちる場合があるので取り付ける場所に十分注意して下さい)

②本体を耐震壁掛金具に掛ける



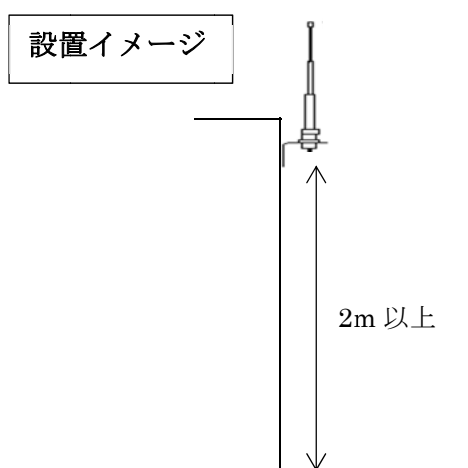
- ・ 裏側の壁掛け用溝に耐震壁掛金具の爪を差し込み下にずらし固定する。
(ズレ落ち防止ゴムのため差込むために押し込む様にしてずらして下さい)

12. オプション

●アンテナセット 品番：DM-ANTENNA

(ロッドアンテナ、アンテナ取付金具、アンテナ延長ケーブル)

アンテナ延長ケーブル（5m）を接続し、電波状態が良好な場合にロッドアンテナを設置します。ケーブルの長さが不足する場合は、必要に応じて延長して下さい。
付属ロッドアンテナ取付金具は、2m以上の場所に取り付けて下さい。



●FMトランスミッター

品番：DM-FM

本製品の動作確認及び、訓練放送を行う時に使用します。
本体操作からの試験ではなく、トランスミッターを使用した場合には、実際の電波を受けた、本番と同様のテストを受けることができます。

●音声入力・接点入力追加

品番：DM-INPUT3022

高度利用型（インターネット接続）の緊急地震速報受信機や、他の機器の接点出力及び音声出力を接続する事により本製品との連動が可能となります。

●内蔵音源書換

品番：DM-ANNOUNCE3022

外国語放送、多言語同時放送など、特殊な音声放送も可能となります。

13. 製品仕様

項目	仕様
品名	デジタルもぐら junior
品番	DM-ER3022J
受信周波数	76.0MHz~108.0MHz ワイド FM 対応 (FM 補完局)
受信感度	20dB μ V 以上
アンテナ入力	F 型端子
緊急地震速報検出	NHK チャイム音 2 回で起動, 常時検出 音声終了タイマー : 1 分または 3 分を選択可能
EWS(緊急警報放送) 検出	1 種 (警報信号), 2 種 (津波警報), 終了信号, 試験放送を受信可能 1 種検出 ON/OFF 設定可能, 2 種検出 ON/OFF 設定可能 音声終了タイマー : 終了信号検出または 3 分を選択可能
制御接点入力 ※ (オプション)	端子形状 : ネジ止め式コネクタ端子。入出力接続端子台と接続して利用 制御接点出力と繋がっています。外部放送設備の制御信号を入力します。
制御接点出力	端子形状 : ネジ止め式コネクタ端子 入出力接続端子台と接続して利用 電気的特性 : 無電圧ループ接点出力 接点出力 : 最大 30VDC 1000mA : 最大 60VAC 500mA 緊急地震速報または EWS(緊急警報放送)を検出した場合, および訓練放送を行う場合に ON になります。 外部放送設備の制御信号として使用します。
音声入力 (音声切替機能入力) ※ (オプション)	端子形状 : ネジ止め式コネクタ端子 入出力接続端子台と接続して利用 外部音声を入力します。EWS あるいは、緊急地震速報を検出していない待機状態で、ライン入力の音声が入力から送出されます。
音声出力	端子形状 : ネジ止め式コネクタ端子 入出力接続端子台と接続して利用 ライン出力 : 最大出力レベル : +6dBs, レベル調整可能 出力インピーダンス : 220 Ω ラジオや内蔵音源の再生音を出力します。 外部の放送設備の入力音声として使用します。
内蔵音源	緊急地震速報 : 1 種類 , 緊急地震速報訓練 1 種類 EWS : 第 1 種警報 1 種類 , 第 2 種警報 1 種類 , EWS 訓練 1 種類 動作確認用メロディ : 1 種類
内蔵音源書換 ※ (オプション)	内蔵音源全て書換可能
音声再生遅延機能	0 秒、 1 秒、 2 秒、 3 秒 (4 種類 設定 SW で指定)
避難訓練機能	緊急地震速報 : メッセージ 1 種類 EWS : メッセージ 1 種類
試験放送機能	ラジオ試験 メロディ試験 ラジオモニタ 3 種
内蔵スピーカ	最大入力 1.0W, 音量調整可能 FM 放送の音声や, 内蔵音源の音声を出力します。
発報記録	緊急地震速報、EWS(緊急警報放送)を受信した事を 3 日間表示します。 ただし、終了ボタンにより消灯が指示された場合、消灯します。
緊急警報試験放送記録	緊急警報試験放送を受信した事を 3 日間表示します。ただし、終了ボタンにより消灯が指示された場合、消灯します。

項目		仕様
パネル表示	地震速報 LED (赤)	緊急地震速報を受信した事を点滅して知らせます。 終了ボタンを押下すると消灯します。操作が無い場合は3日間点滅を続けます。
	緊急放送 LED (緑色)	EWS (緊急警報放送)を受信すると点灯し、EWS (緊急警報放送)の試験放送を受信すると点滅します。終了ボタンを押下すると消灯します。操作が無い場合は約3日間点灯を続けます。 設定スイッチの1と2が共にOFFの場合は受信しません。
	周波数表示 (赤)	ラジオの受信周波数を常に表示します。(4桁)
	FM LED (緑色) (電波強度表示)	ラジオの受信電波強度を示します。電波強度に応じてLEDが消灯(電波無し)、点滅(弱い)、点灯(良好)と変化します。 LEDが点灯している状態で御使用下さい。
	モニタ LED (緑色)	音量設定時は点滅、ラジオモニタ時は点灯します。
	訓練 LED (緑色)	緊急地震速報訓練時は点滅、EWS(緊急警報放送)訓練時は点灯します。
設置方法		付属の耐震壁掛金具にて壁面に設置します。
電源		DC9V, ACアダプタ(入力AC100V)
消費電力		待機時: 1W以下, 最大10W
動作環境		温度: 0°C~40°C, 湿度: 20%~80% (結露なき事)
寸法 (約)		176mm (幅) × 87mm (高) × 27mm (奥行)
重量 (約)		200g (本体のみ)

緊急地震速報のリーディングカンパニー



株式会社 **J** コーポレーション

総合窓口 TEL 0742-53-7833

業務管理センター 奈良県奈良市押熊町 557-7 4F fax 0742-53-7795

本社 三重県津市住吉町 11-13 TEL 059-223-7774

